

KEYBOARD AMPLIFIER

KA-45

取扱説明書

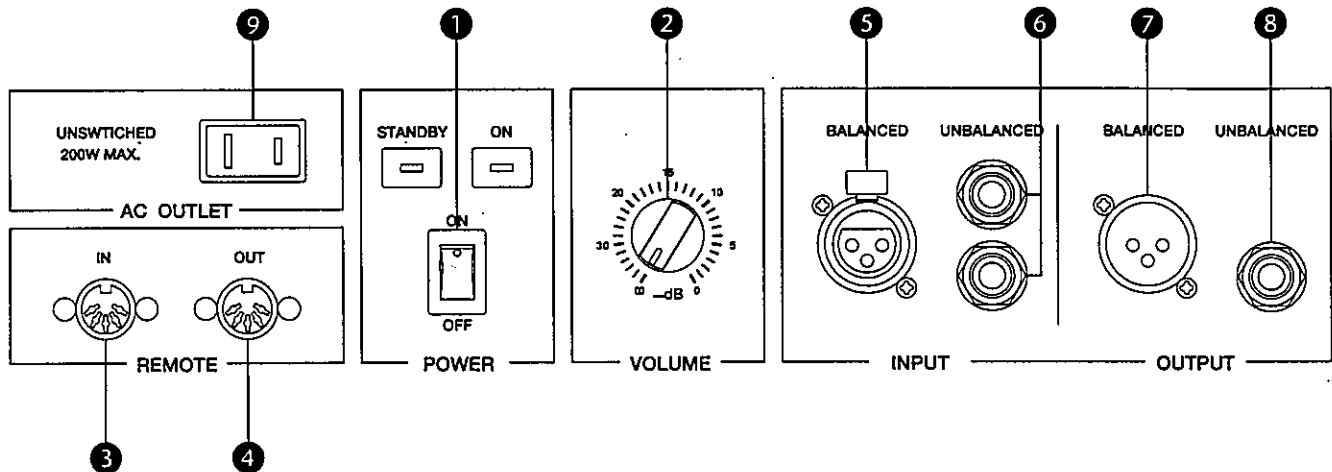


このたびは、ヤマハ・キーボードアンプKA-45をお買い上げいただきまして、ありがとうございます。
ご使用いただく前に、必ずこの取扱説明書をお読みください。
また、本書は不明な点が生じた場合に備えて、大切に保管いただきますようお願いいたします。

YAMAHA

各部の名称とはたらき

[リアパネル]



電源コード

KA-45リアパネル下部の電源コードを、AC100Vのコンセントに差し込みます。

KA-45は電源スイッチを切ると、一旦待機状態になり、副電源が入ったままになります。わずかですが電力がかかりますので、長期間使用されない場合は電源コードをコンセントから抜いてください。

* ご使用の際、ハムノイズが出た場合は一旦電源スイッチを切り、電源プラグの差し込み方を逆にしてください。

① POWER (電源スイッチ)

KA-45の電源の[ON/OFF]スイッチです。

電源コードを接続すると、電源スイッチが[OFF]の時は緑色の[STANDBY]ランプが点灯し、[ON]にすると、赤色の[ON]ランプが点灯します。

電源を入れる時は、接続しているキーボードの電源を入れ、次にKA-45の電源スイッチを[ON]にしてください。また、電源を切る時は、KA-45の電源スイッチを[OFF]にし、待機状態にしてからキーボードの電源を切ってください。この時、副電源が入ったままになりますので、すべての電源を切る場合は電源コードをコンセントから抜いてください。

* リモート接続でご使用の際は、電源スイッチを[OFF]にしておきます。

② VOLUME (ボリューム)

ダイヤルをまわして音量を調節します。 ∞ で最小、0で最大になります。

* 電源スイッチをON/OFFする時は、ボリュームを ∞ (最小)にしてください。

REMOTE (リモート)

キーボードの電源スイッチと同時にKA-45の電源スイッチをON/OFFするための端子です。

③ IN (イン)

この端子と接続するキーボードのMIDI OUT端子をMIDIケーブルで接続します。

④ OUT (アウト)

2台以上のキーボードアンプをリモート接続する時に使う端子です。

この端子と接続するキーボードアンプのREMOTE IN端子をMIDIケーブルで接続します。

* [REMOTE IN]、[REMOTE OUT]端子はMIDI端子と同じ5ピンのDINジャックを使用していますが、MIDI信号を送/受信する機能はありません。[REMOTE OUT]端子をMIDI OUTやMIDI THRU端子の代わりとして使うことはできませんのでご注意ください。

INPUT (インプット)

⑤ BALANCED (バランス)

XLR端子
接続するキーボードの出力端子がXLR端子の時はこの端子と接続します。

⑥ UNBALANCED (アンバランス)

フォーン端子
接続するキーボードの出力端子がフォーン端子の時はこの端子と接続します。

* バランスとアンバランスの信号は内部でミキシングされますので同時に使用することができます。

OUTPUT (アウトプット)

⑦ BALANCED (バランス)

XLR端子

キーボードアンプを増設する時、この端子と接続するアンプのINPUT (XLR端子)を接続します。

⑧ UNBALANCED (アンバランス)

フォーン端子

キーボードアンプを増設する時、この端子と接続するアンプのINPUT (フォーン端子)を接続します。

* [OUTPUT]端子の出力レベルは[INPUT]端子の入力レベルと同じレベルで出力されます。KA-45の並列接続可能台数は片チャンネル4台までです。

* フォーン端子に入力した場合はXLR端子から出力されません。

⑨ AC OUTLET

KA-45と同時に使用する機器のサービス電源です。KA-45の電源コードが接続されている時は、電源が[OFF]の状態でもご使用いただけます。

* 200Wを超えるものを接続されるとKA-45の故障の原因となります。大変危険ですでおやめください。

接続のしかた

図1 XLR端子を使う接続

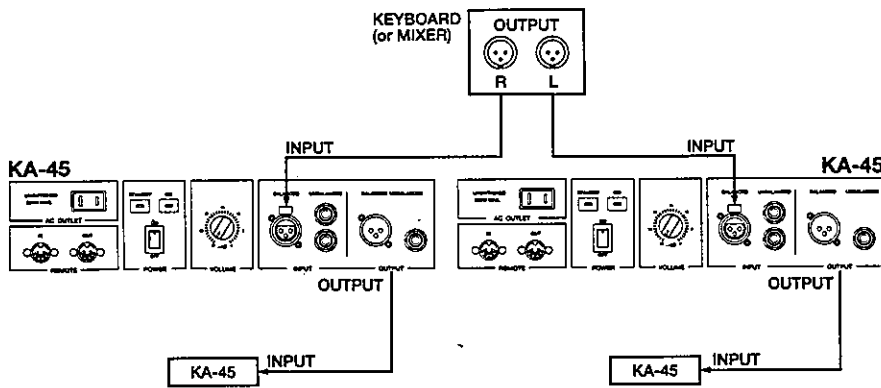


図2 フォーン端子を使う接続

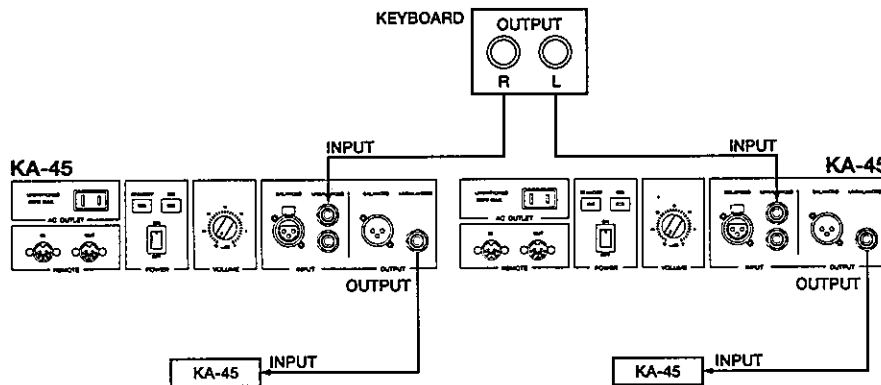
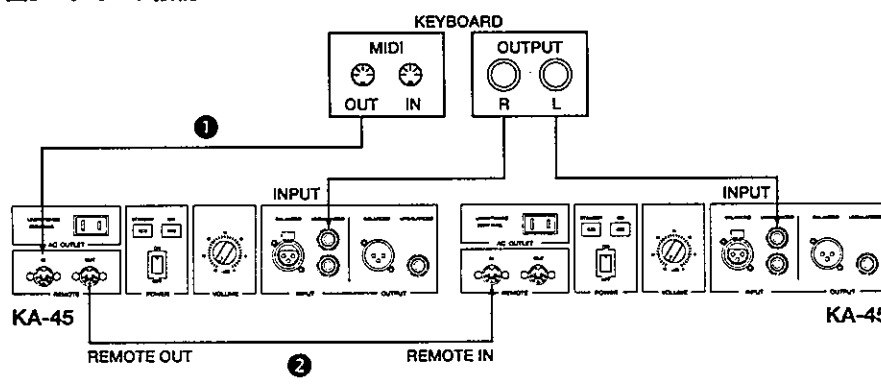


図3 リモート接続



■ 基本接続

キーボードのOUTPUTまたはAUX OUT端子とKA-45の[INPUT]端子を接続します。図1はXLR端子を使う場合、図2はフォーン端子を使う場合の接続方法です。

キーボードアンプを増設する場合はKA-45の[OUTPUT]端子と増設するアンプのINPUT端子を接続してください。

これらの接続の場合、キーボードアンプの電源はキーボードとは独立してON/OFFします。

■ リモート接続

キーボードの電源スイッチをON/OFFすることによってKA-45およびその他のキーボードアンプの電源を同時にON/OFFするための接続方法です。

図3のように基本接続に加えて[REMOTE]端子をMIDIケーブルでつなぎます。

- ① キーボードのMIDI OUT端子とKA-45の[REMOTE IN]端子を接続し、
- ② さらにKA-45の[REMOTE OUT]ともう1台のKA-45の[REMOTE IN]端子を接続してください。

このリモート接続をした場合はKA-45の電源スイッチを[OFF]にセットします。[STANDBY]の緑色のランプが点灯します。キーボードの電源をONにすると、KA-45の電源もONになり赤色のランプが点灯します。

- 基本接続およびリモート接続に使用する接続コード、MIDIケーブルをオプションとして用意しています。

取扱い上の注意

- 必ず、AC100Vのコンセントから電源を、大型クーラーやセントラルヒーティングの電圧は、AC(交流)200Vのものがあります。誤って接続すると大変危険ですので、充分ご注意ください。

- 電源プラグの扱いに注意。
ぬれた手で電源プラグにふれると、感電するおそれがありますので、充分ご注意ください。また、コードの断線やショートを防ぐため、電源コードをコンセントから抜くときは、電源プラグ自体を持って抜いてください。

- 電源スイッチを切り忘れないように。
電源が入ったまま長時間放置すると、思わぬ故障の原因になることがありますので、使用後は必ず電源スイッチを切ってください。KA-45は電源スイッチを切ると、待機状態になり、副電源が入ったままになります。わずかですが電力がかかりますので、長期間使用されない場合は電源コードをコンセントから抜いてください。

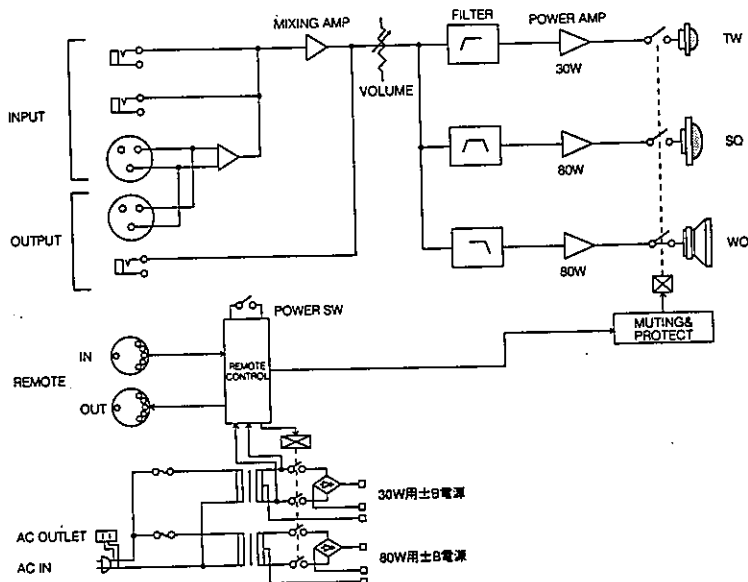
- 設置場所について。
放熱のため後面に十分なスペース(壁から20センチ以上)をとってください。また、直射日光が当たる場所、暖房器具の近く、湿気やホコリの多い場所、温度の特に低い場所などはさけてください。キャスターがついていますので傾斜した場所には設置しないでください。また、危険ですから2段積みで使用しないでください。スイッチやつまみなどにも無理な力を加えないでください。

仕様

アンプ出力	ウーファー用: 80Wrms スコーカー用: 80Wrms ツイーター用: 30Wrms
スピーカー	ウーファー: 30 cm コーン×1 スコーカー: 8 cm ハードドーム×1 ツイーター: 2.5 cm ハードドーム×1
再生帯域	35Hz-20kHz
入力レベル	+4 dBm (バランス) -14 dBm (アンバランス)
入力インピーダンス	10 kΩ
コントロール/インディケーター	POWER,STANDBY表示LED、 POWER ON表示LED、VOLUME
入力端子	BALANCED (XLR) 1系統 UNBALANCED (フォン) 2系統
出力端子	BALANCED (XLR) 1系統 UNBALANCED (フォン) 1系統
リモートコントロール用	DIN 5P 各1系統
入出力端子	
ACアウトレット	UNSWITCHED 200W Max
消費電力	160W
サイズ	間口450mm、奥行493mm、高さ842mm
重量	60kg
外装	ダークグレイ シボ塗装

規格および仕様は予告なく変更する場合があります。

ブロックダイアグラム



アフターサービスと保証

サービスのご依頼は、直接お買い上げ店へお申し付けください。

■ 本機の保証は、保証書によりご購入日から満1ヶ年です。尚、現金、クレジットなどによる保証の区別はいたしません。
(日本国内のみ有効)

■ 保証期間中の1ヶ年を過ぎても有償にて責任をもってサービスを実施いたします。尚、補修用性能部品の保有期間は製造打切り後8年となっております。また、保証期間中の修理などアフターサービスについてご不明の場合は、お買い上げ店か右記、お近くのサービス拠点までお問い合わせください。

■ お買い上げ店による修理調整
故障の場合は、直接お買い上げ店にご連絡ください。責任を持って修理調整をいたします。

■ サービスをご依頼される前に
ご使用中に「故障ではないか」と思われましたら、本書をいま一度お読みいただき、お確かめください。(ご依頼をお受けして点検いたしますと故障でない場合でも点検代を申し受けますのでご注意ください。)

■ サービスのご依頼
サービスをご依頼なさるときは、お名前、ご住所、電話番号をお知らせください。またお勤めで昼間ご不在の方は、お勤め先の電話番号、もしくは連絡方法をお知らせください。(機器の具合をもう少し詳しくおたずねしたいときや、万一やむをえぬ事情によって、お約束を変更しなければならぬようなときにお客様にご迷惑をおかけしないですみます。)

ヤマハ電気音響製品サービス拠点 (修理受付およびお預り窓口)

北海道サービスセンター	〒064 札幌市中央区南10条西1丁目1-50 ヤマハセンター内 TEL. 011(513)5036
仙台サービスセンター	〒983 仙台市若林区御町5-7 仙台卸商共同配送センター3F TEL. 022(236)0249
新潟サービスセンター	〒950 新潟市万代1-4-8 シルバーホールビル2F TEL. 025(243)4321
首都圏サービスセンター	〒211 川崎市中原区木月1184 TEL. 045(434)3100
浜松サービスセンター	〒435 浜松市上西町911 ヤマハ(株)宮竹工場内 TEL. 053(456)6711
名古屋サービスセンター	〒454 名古屋市中川区玉川町2-1-2 ヤマハ(株)名古屋流通センター3F TEL. 053(456)6711
大阪サービスセンター	〒565 吹田市新芦屋1-16 ヤマハ(株)千里丘センター内 TEL. 06(877)5262
四国サービスセンター	〒760 高松市九尾町8-7 ヤマハ(株)高松店内 TEL. 0878(22)3045
広島サービスセンター	〒731-01 広島市安佐南区西原6-14-14 TEL. 082(874)3787
九州サービスセンター	〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4 TEL. 092(472)2134
[本社]	
カスタマーサービス部	〒435 浜松市上西町911 ヤマハ(株)宮竹工場内 TEL. 053(465)1158

その他のお問い合わせ

建盤営業本部 電子楽器営業部 エレクトーン営業課
〒435 浜松市中沢町10-1 TEL. 053(460)2191

*名称および住所電話番号は変更になる場合があります。

YAMAHA
YAMAHA CORPORATION
ヤマハ株式会社